

### Ⅲ 思春期保健



## 1. 思春期保健に関する取組み

根拠法令等	佐倉市独自	
健康さくら21（第2次） 目標値	(初期値) → (目標)	
	・シンナー・薬物使用を勧められたとき、断る 自信のある中・高校生の割合	79.9% → 100%
	・シンナー・薬物使用の有害性について、 知っている中・高校生の割合	83.9～98.7% → 100%
	・避妊法を正確に知っている高校生の割合	男子 65.0% → 増加 女子 82.2% → 増加
	・性感染症を正確に知っている高校生の割合	13.8～96.8% → 増加
	・性についてオープンに話せる家庭の割合	32.9% → 増加
	・子どもから性に関する悩みや相談を受けた ときにきちんと応えられる保護者の割合	幼児保護者 34.7% → 増加 小学生保護者 44.2% → 増加
	・自己肯定感を持てる中・高校生の割合	男子 42.0% → 増加 女子 28.7% → 増加
	・育児に関して肯定的な意見を持つ 中・高校生の割合	男子 64.2% → 増加 女子 76.6% → 増加

### 《目的》

思春期は大人と子どもの両方の面をもつ時期であり、飲酒や喫煙、いじめや不登校、望まない妊娠等思春期における問題は、本人の現在の問題にとどまらず生涯にわたる健康問題や、次世代へ悪影響を及ぼすと言われているため、家庭、学校、地域等の連携による教育、啓発普及、相談等を通して、課題の共有と情報の提供を行う。

### 《内容》

- ①養護教諭研修会への参加
- ②保健授業の協働実施
- ③小学校及び中学校への健康教育教材の貸し出し、健康教育

### 《実績》

- ①養護教諭研修会への参加

平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
5 回	5 回	5 回	5 回	3 回

## ②保健授業の協働実施

佐倉市教育委員会と連携しながら、『自分を大切にする』という視点で、学校の養護教諭、クラス担任と保健師が思春期保健に取り組む保健授業の協働実施状況 (人)

実施年度	対象学年	題材	児童数	保護者数	児童数/実施校 (総数)
25年度	小学2年生	おへそのひみつ	238	20	353/5校
	小学4年生	生命誕生	60	—	
	小学6年生	心の健康 (大脳の働き)	55	—	
26年度	小学2年生	おへそのひみつ	316	—	400/5校
	小学4年生	生命誕生	84	—	
27年度	小学2年生	おへそのひみつ	102	68	181/3校
	小学4年生	生命誕生	79	14	
28年度	小学2年生	おへそのひみつ	105	89	230/4校
	小学4年生	生命誕生	125	7	
29年度	小学2年生	おへそのひみつ	162	118	195/4校
	小学4年生	生命誕生	33	8	

## ③小学校及び中学校への健康教育教材の貸し出し

### ア. 沐浴人形

市内小学校6校、中学校10校の計16校、延べ23回

### イ. 妊婦ジャケット

市内小学校4校、中学校10校の計14校、延べ18回

## 《考 察》

平成29年度については、市内4か所の小学校において、小学2年生と4年生の児童と保護者を対象に協働授業を実施した。授業後、児童からは「自分が生まれてきてよかった」、「早くお母さんになりたいと思った」、「10か月もおなかにいると思わなかった (お母さんは大変)」、「赤ちゃんは思ったよりも重かった」等の感想が聞かれた。また、2年生の保護者からは、「低学年に大事な話をしてくれてよかった、感動した」などの声が聞かれ、保護者にとってもこれまでの子育てを振り返る機会になったと思われる。単なる性教育ではなく、児童の自己肯定感を育むきっかけづくりとなる「生」教育として、今後も協働授業を展開したいと考える。

平成29年度は、実施4校中1校が千代田地区の小学校と、新たに千代田地区の小学校で授業を実施することができた。協働授業の実施校が志津地区に集中している現状にあるが、今後も引き続き、現段階で得られた反応や効果を伝えながら、市内全域の小学校での授業展開を目指したい。